

## もの言う牧師のエッセー 第165話

## 「若いフィリピン」

台風・ヨランダ（日本では30号）がフィリピン中部のレイテ地域に壊滅的な被害を与えてから早くも1年が過ぎた。今日も日本からの専門家や職人などのボランティアらが再建のために奮闘しておられるのを見るのは誠に心強い。微力ながら当教会も応援させていただいた。

日本の人口が1億人を超えたのは1967年で、その後も増え続けたものの2008年の1億2809万人をピークに減少に転じ、少子化時代に突入したのは周知のとおりだが、フィリピンでは昨年の夏に一億人に達した。しかも全国民のちょうど真ん中に当たる中央値年齢は日本の約45歳に対しフィリピンは約23歳とメチャクチャ若い！おまけに女性一人当たり子供を3人以上産むので人口は急増中、彼らが日本の人口を追い抜くのは時間の問題だ。かつての日本では、彼らがクラブなどで働く出稼ぎのようなイメージがあったが、今は様変わりした。

実は米国では、彼らの収入はアジア系の中ではトップレベルだ。英語が堪能なほかに、スペイン統治の名残で欧州とも造詣が深いゆえ白人とのコミュニケーション能力がダントツなのである。そんな彼らは総じて日本が大好きというから何とも嬉しい。成熟し老いゆく経済大国と、若くて成長著しい途上国。日本が蓄積した高度な技術やノウハウを生かしてフィリピンの若い人材を育てることができれば、双方に大きなメリットがあり、創造的で強力な関係が構築できよう。1600年にわたって書かれた大河ドラマである聖書にも、多くの新旧交代や相続の逸話がある。

**「主はモーセに仰せられた。『あなたは神の霊の宿っている人、ヌンの子ヨシュアを取り、あなたの手を彼の上に置け。あなたは、自分の権威を彼に分け与え、イスラエル人の全会衆を彼に聞き従わせよ。』」民数記 27章 18,20節。**

これは今から約3500年前、神に導かれ“約束の地”を目指すイスラエルの指導者モーセが、その土地の手前で従者ヨシュアに民の命運を託す瞬間である。実はモーセは約束の地には入れなかった。事業はヨシュアが引継いだので、一見したところ彼は損したように見える。

だが不思議なことに、聖書中においてモーセの権威は他を圧倒する。66巻から成る聖書の最初の5巻は彼の手によるもので、言わば彼は聖書の基礎を作ったと言ってよい。彼は決してヨシュアに負けたわけではないのだ。日本も“弟分”とも言うべき若いアジアの国々に進んでその権威を分け与えてこそ、かえって自らの権威が高まるのではないだろうか。日本人が神を信じ、喜んで他者を愛する時、本来の日本の強さが現れ他国を圧倒することは間違いない。

2015-1-4

